コロナワクチン接種費等 総括及び請求書作成簡易ツール

処理手引き

令和6年4月 岡山県国民健康保険団体連合会

1. はじめに

「コロナワクチン接種費等総括及び請求書作成簡易ツール」(以下「本ツール」という。)は、V-SYSにて2024年4月請求分の請求総括書・市区町村別請求書を作成することができない場合に、請求総括書・市区町村別請求書を作成し印刷する簡易的なツールとなります。

2. 準備

Windows10等で、EXCELの2013以降のバージョンがインストールされているパソコンを用意して下さい。

用意したパソコンへ接続して印刷できるプリンタを用意して下さい。 使用する用紙はA4サイズで、白色とクリーム色となります。

本ツールを岡山県国民健康保険団体連合会のホームページからダウンロードし、用意したパソコンのデスクトップ等へ格納(複写)して下さい。

ポイント

本ツールのダウンロードでは、パソコンがインターネットへ接続できる必要がありますが、 本ツールで請求書等を作成印刷する処理では、インターネットへ接続できても、できな くても作成印刷処理が行えます。

そして、ダウンロードするパソコンと作成印刷処理を行うパソコンは、同じでも、別でも 問題ありません。

EXCELは、マクロが使える設定として下さい。

【設定例】

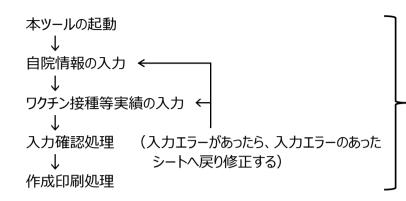
EXCELの左上の [ファイル] →左側の一番下の [オプション] →左側の一番下の [セキュリティセンター] →右側の右端の [セキュリティセンターの設定(T)] → 左側の真ん中辺の [マクロの設定] とクリックして行き、右側上段の「マクロの設定」のところの 上から2つ目の「○警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」をクリックして選択し、右下の「OK] →右下の「OK] とクリックして下さい。

[]注意

このマクロの設定について、変更前と変更後で設定内容が違う場合は、本ツールの処理が全て終了した後に、変更前の設定内容へ戻して下さい。

3. 処理及び操作

3.1 処理の流れ



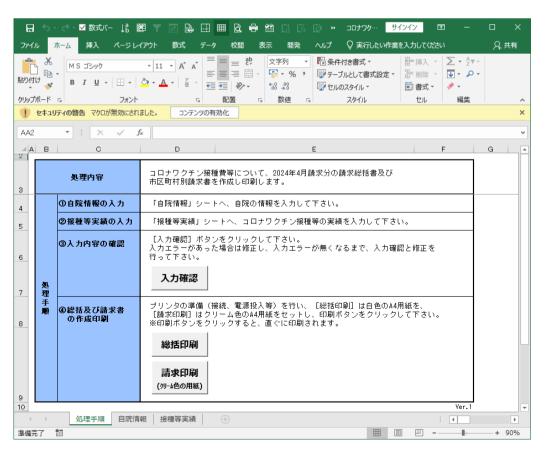
EXCELを保存して終了すれば、入力途中から引き続いて処理ができます。

3.2 本ツールの起動

本ツールをダブルクリックして起動して下さい。

「保護ビュー 注意 – インターネットから入手した・・・」と表示された場合は、 [編集を有効にする(E)] を「セキュリティの警告 マクロが無効にされました。」と表示された場合は、 [コンテンツの有効化] を クリックして下さい。





3.3 自院情報の入力

「自院情報」シートを表示して、全ての項目に自院の情報を入力して下さい。

【入力例】



項目		入力
医療機関コード		数字10桁で入力して下さい。
医療機関名		医療機関名を入力して下さい。
代表者名		代表者名を入力して下さい。
医療機関 の所在地	都道府県	「岡山県」固定で、入力及び変更できません。
	市町村	市町村名を入力するか、 ドロップダウンリスト から選択して下さい。
	その他及び番地等	岡山市の場合は区名から入力して下さい。
電話番号		電話番号を入力して下さい。

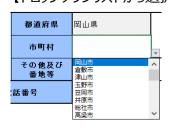


ドロップダウンリストが設定されている項目で入力エラーが表示された場合は、[再試行]をクリックして再度入力するか、[キャンセル]をクリックしてドロップダウンリストから選択して下さい。

【入力エラーの表示】



【ドロップダウンリストから選択】



3.4 ワクチン接種等実績の入力

「接種等実績」シートを表示して、接種等の実績を入力して下さい。

【入力例】



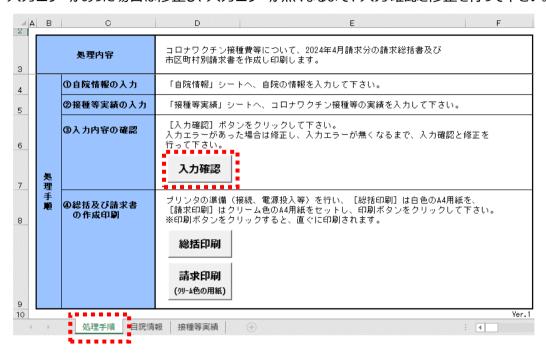
項目		入力
予診のみ/接種		「予診のみ」又は「接種」を入力するか、 ドロップダウンリスト から 選択して下さい。
都道府県		都道府県名を入力するか、 ドロップダウンリスト から選択して下さい。
市区町村		市区町村名を入力するか、ドロップダウンリストから選択して下さい。
6 歳以上	時間外・休日分除く	6歳以上の時間外・休日分除くの場合の実施回数を入力して 下さい。
	時間外	6歳以上の時間外の場合の実施回数を入力して下さい。
	休日	6歳以上の休日の場合の実施回数を入力して下さい。
6 歳未満	時間外・休日分除く	6歳未満の時間外・休日分除くの場合の実施回数を入力して下さい。
	時間外	6歳未満の時間外の場合の実施回数を入力して下さい。
	休日	6歳未満の休日の場合の実施回数を入力して下さい。

3.5 入力確認処理

自院情報と接種等実績の入力が終り、請求総括書・市区町村別請求書を作成し印刷する前に 入力内容の確認を行って下さい。

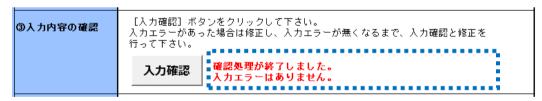
(1)入力確認方法

「処理手順」シートを表示して、 [入力確認] ボタンをクリックして下さい。 入力エラーがあった場合は修正し、入力エラーが無くなるまで、入力確認と修正を行って下さい。



(2)入力確認結果

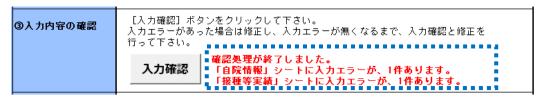
【入力確認結果例①】



入力エラーはありませんでした。

請求総括書・市区町村別請求書の作成印刷処理が行えます。

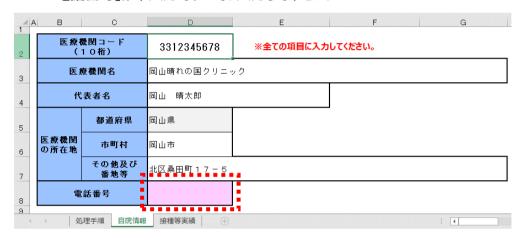
【入力確認結果例②】



入力エラーがありました。入力エラーがあった場所はピンク色に塗られます。 対象のシートを表示して修正して下さい。



「電話番号」が未入力ですので、入力して下さい。





EXCELの列行位置「C 6 」の「広島県」の市区町村が未入力ですので、入力して下さい。



3.6 作成印刷処理

請求総括書・市区町村別請求書を作成し印刷します。

(1)作成印刷方法

プリンタの準備を行って下さい。(接続、電源投入、A4用紙のセット等)

11 注意

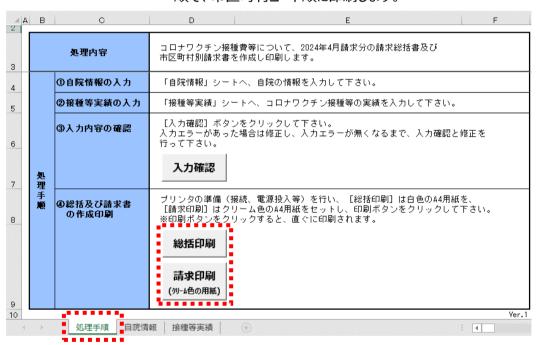
請求総括書を印刷する場合は白色のA4用紙をセットし、市区町村別請求書を印刷する場合はクリーム色のA4用紙をセットして下さい。

「処理手順」シートを表示して、「総括印刷] 又は「請求印刷] ボタンをクリックして下さい。

[総括印刷] ボタン : 請求総括書を1枚作成し印刷します。

[請求印刷] ボタン : 市区町村別請求書を作成し、県外市区町村、県内市区町村の

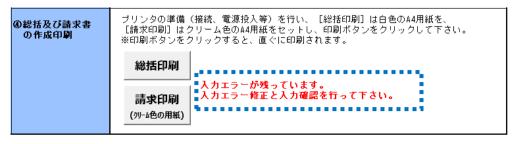
(クリーム色の用紙) 順で、市区町村コード順に印刷します。



(2)その他

①「入力エラーが残っています。」と表示された場合

入力エラーが残っているので、入力エラーの修正と入力確認を行って下さい。



②作成印刷処理を再度行いたい場合 処理に制限は無く、再処理ができます。